

目次

評論 一九三九年

朝鮮の知識人に訴ふ 張赫宙(文藝)	13
張赫宙氏へ 玄民(俞鎮午)(帝國大學新聞)	29
朝鮮の現代文學(1) 林和(京城日報)	31
朝鮮の知識人として答ふ 李明孝(文藝)	35
所謂「二重過歲」(1) 俞鎮午(京城日報)	41
朝鮮文壇人へ(1) 金文輯(京城日報)	45
師への言葉 兄への言葉(1) 金龍濟(京城日報)	51
朝鮮文壇の現状 俞鎮午(朝鮮画報)	57
國文文學問題(1) 韓曉(京城日報)	59
内鮮文學の交流 崔載瑞(ラヂオ講演・講座)	65
言葉を意識する(1) 林和(京城日報)	75
朝鮮の作家を語る 金史良(モダン日本)	79
文學の國民性(1) 李光洙(京城日報)	83
文學と純粹性(1) 徐寅植(京城日報)	87
『朝鮮藝術賞』(1) 漢陽學人(京城日報)	93

評論 一九四〇年

- 朝鮮文壇の動向 李源朝(朝鮮) 99
- 新しき創造へ(1) (3) 兪鎮午(京城日報) 105
- 朝鮮文化の將來 李光洙(總動員) 109
- 朝鮮文人協會への要望何ヶ條(1) (4) 印貞植(京城日報) 117
- 現段階に於ける朝鮮文學の諸問題(1) (5) 金永鎮(京城日報) 123
- 李光洙氏の小説『無明』に就て(上)(下) 林和(京城日報) 129
- 朝鮮に忘れぬ人々の思ひ出(1) (7) 金東煥(京城日報) 133
- 朝鮮一體と朝鮮文學 春園生(李光洙) (朝鮮) 141
- 知識と創造 白鐵(文藝) 151
- 兪鎮午氏に聞く朝鮮文學の現狀 (綠旗) 153
- 朝鮮文學の最近の動向 韓植(文學界) 157
- 朝鮮文學通信 白鐵(文藝) 164
- 朝鮮文學通信 林和(文藝) 166
- 朝鮮文學通信 李石薰(文藝) 168
- 現代朝鮮文學の環境 林和(文藝) 171
- 朝鮮の作家と批評家 白鐵(文藝) 177
- 東京で活躍してゐる半島の人々 金浩永(モダン日本) 183

半島の新劇界を展望する 徐恒錫(モダン日本) 187

朝鮮文壇の近況 韓植(モダン日本) 189

大陸文學など(1)〜(3) 韓雪野(京城日報) 191

内鮮青年に寄す 香山光郎(李光洙)(總動員) 195

新體制と文學 芳村香道(朴英熙)(綠旗) 198

同胞に寄す(1)〜(8) 香山光郎(京城日報) 199

朝鮮文學の展望 韓植(文藝年鑑二六〇〇年版) 209

評論 一九四一年

朝鮮文化の基本姿勢 金鍾漢(三千里) 215

重大なる決心(1)〜(4) 香山光郎(京城日報) 217

國民劇樹立の意義(1)〜(3) 咸大勳(京城日報) 223

文學新體制化の目標 崔載瑞(綠旗) 227

私の新演劇論(1)〜(7) 金健(京城日報) 233

近代劇と國民演劇(1)〜(5) 咸大勳(京城日報) 243

新人風土——朱永涉 ○生(文化朝鮮) 250

新人風土——金信哉 □生(文化朝鮮) 250

力と文化(1)〜(4) 星野相河(裏相河)(京城日報) 251

朝鮮文學と東洋的課題 韓植（新文化） 257

半島の弟妹に寄す 香山光郎（新時代） 259

半島の新文化といふこと 牧洋（李石薰）（緑旗） 263

新しき決意(上)(中)(下) 牧洋（京城日報） 267

評論 一九四二年

國民文學の黎明期 金村龍濟（金龍濟）（東洋之光） 273

昭和十六年の半島文學の回顧 金聲均（朝鮮） 281

文化人よ起て 芳村香道（京城日報） 291

半島文壇と國語の問題 金村龍濟（緑旗） 293

朝鮮映畫、演劇における國語使用の問題 咸大勳（緑旗） 299

文學の眞實性(1) (5) 李無影（京城日報） 301

國民文學の諸問題 牧洋（緑旗） 305

短歌門外觀 金鍾漢（緑旗） 309

ありかた談義(一) (四) 金鍾漢（京城日報） 311

朝鮮映畫の一般的課題 吳泳鎮（新時代） 315

新らしさについて 牧洋（東洋之光） 323

文學の理想性(一)(二) 白鐵（東洋之光） 325

ある映畫人への手紙 吳泳鎮（新時代） 335

對象の把握に就いて	城山昌樹 (國民詩歌)	343
羞恥する心について	城山昌樹 (國民詩歌)	346
文藝政策私語 (1) (4)	金村龍濟 (京城日報)	349
主體から見た朝鮮の國民文學	俞鎮午 (朝鮮)	353
文學者大會の成果 (上) (下)	俞鎮午他 (讀賣報知)	363
大東亞文學者大會の發言 (京城日報)		
(1) 大東亞精神 (上) (下)	香山光郎	369
(2) 相寄る魂と魂	芳村香道	370
(4) 日本語の普及	俞鎮午	371
私と國語	香山光郎 (京城日報)	373
ニーチエ的創造 (上) (下)	趙演鉉 (東洋之光)	375
大東亞戰爭一周年 (京城日報)		
(1) 戦ひの曲	白山青樹	385
(2) 感謝と誓願	徐恒錫	385
(3) 俘虜の示唆	蔡萬植	386
(4) 晴れた青空	崔貞熙	387
(5) 油斷は禁物	金億	388
(6) 斬込む氣持	平沼文甫	388
(7) この日にして	李無影	389

(8) 大いなる曉 東原寅斐(鄭寅斐) 390

朝鮮文壇一年を顧る(1) (5) 兪鎮午(京城日報) 393

評論 一九四三年

大東亞文学者大会と朝鮮の作家たち (朝鮮画報)

大東亞文学者大会に列して 兪鎮午 399

十億が一身に 芳村香道 400

感想に代へて 香山光郎 400

文壇點描 金鍾漢(文化朝鮮) 401

文藝への總督賞制定 (京城日報)

(1) 文學總督賞 香山光郎 403

(2) それ故の精進 芳村香道 403

(3) 總督賞の意義 金村龍濟 404

(4) 作家の矜持 牧洋 405

(5) 大いなる拍車 兪鎮午 406

朝鮮文學通信 兪鎮午(新潮) 409

“亞細亞詩集”(上)(下) 兪鎮午他(京城日報) 411

靜かなる嵐(上)(下) 鄭人澤(京城日報) 413

作家と氣魄 兪鎮午(文藝) 415

起上る農村(上)(下)	香山光郎(京城日報)	419
文學賞について	金鍾漢(文化朝鮮)	421
國民演劇の樹立	安英一(朝鮮画報)	423
農業生産増強を繞りて	廣安正光(安含光)(金融組合)	427
海ゆかば(上)(下)	崔載瑞(京城日報)	433
思想の誕生	金鍾漢(金鍾漢)(新時代)	435
青年と文學	金本宗熙(東洋之光)	437
新半島文學の性格	崔載瑞(文化朝鮮)	443
劇界散策記	吳禎民(文化朝鮮)	447
朝鮮の詩人たち	金鍾漢(文化朝鮮)	448
農村にて(1)(3)	李無影(京城日報)	449
出船の精神	松村紘一(朱耀翰)(新時代)	453
藝術の機能(上)(下)	趙演鉉(東洋之光)	457
兵制と文學	金鍾漢(新時代)	467
新しい詩劇のために	朱永涉(文化朝鮮)	471
偶語二題	金鍾漢(文化朝鮮)	472
朝鮮文壇の水準向上	俞鎮午(『朝日新聞』中鮮版)	473
個人的接觸の機會	俞鎮午(『朝日新聞』中鮮版)	473
文壇現地報告	趙演鉉(文化朝鮮)	474

希望の歌 朴勝極（東洋之光）

475

作品出典一覧

477

（目次表記について）

- ・ 上から作品名・著者名・本来の名・（掲載紙誌／掲載書）の順。
- ・ 漢字表記については原則として原本に拠った。